



主題名 おじいちゃんやおばあちゃんの生き方を知ろう

教材名 ぼくの おじいちゃんとおばあちゃん

人権学習の視点 個別的な視点「高齢者の人権問題」

主題・教材について 高齢社会を迎えてはいるものの核家族化が進み、高齢者とふれ合う機会は少なくなってきた。高齢者は弱者で、社会から助けられているというイメージを持つ児童もいる。この教材では、高齢者は社会に貢献し、次世代に多くのものや事柄を残していることに気づき、高齢者に対する尊敬や感謝の気持ちをはぐくみたい。

ねらい 身近な高齢者の「生き方」に関心を持ち、その豊かさや努力を知ることで高齢者を尊敬する心情を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○資料の情景が浮かぶよう事前指導をする。	一斉	○「丹後地方」「棚田」「米を作る手順」などを知る。	○「丹後の棚田」や「機械と手作業の場合の違い」などがイメージできるようにする。	京都府地図
展	「ぼくの おじいちゃんとおばあちゃん」の生き方を知ろう				
	○「ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん」を読ませ、「すごい」と思うことを見付けせる。	一斉	○「ぼくが『すごい』と思うことはどのようなことだろうか」、考え発表する。	○働くことの苦労や誇りとともにおじいちゃんとおばあちゃんのたくましさを感じとらせる。	資料「ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん」
開	身近なお年寄りの「生き方」を発表し合おう				
	○身近なお年寄りの頑張ったことや苦労したことを知り、その生き方にふれさせる。	一斉	○聞き取った身近なお年寄りの「生き方」を発表し合う。 ○感じたことや分かったことを話し合う。	○少し期間を取って、事前に聞き取りができるようにしておく。 ○近所や知り合いのお年寄りから聞き取らせてもよい。 ○事前に内容を把握し、使う資料を決めておく。	事前聞き取りワークシート
まとめ	○お年寄りに対する尊敬の気持ちを感じとらせる。	個別	○お年寄りの「生き方」を知り、感じたことや思ったことについて手紙を書く。	○資料の「ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん」、自分や近所のお年寄りの中から選んで、手紙を書く。	ワークシート P43



評価 身近な高齢者の「生き方」に関心を持ち、その豊かさや努力を知ることで高齢者を尊敬する心情を養うことができたか。

